

# 和弘食品株式会社

北海道の恵みとともに**スープ・タレ・天然エキス**を
作り出す業務用調味料の専門メーカーです

# 2027年３月期 第2四半期 決算説明資料

**２０２６年 11月 13日**
**証券コード　２８１３**

JPX STANDARD

札幌証券取引所



# 目次

1．2027年3月期 第２四半期 連結決算業績
2．日米月別売上推移
3．日本セグメント概況
4．米国セグメント概況


Copyright © 2026 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

# 2027年3月期 第２四半期　連結決算業績

和弘食品株式会社

（単位：百万円）

| | 2026年３月期 第２四半期 | 2027年３月期 第２四半期 | 前期 増減額 | 前期 増減率 |
|---|---|---|---|---|
| 売上高 | 8,035 | 8,729 | 694 | 8.6% |
| 売上総利益 | 2,170 | 2,407 | 236 | 10.9% |
| 営業利益 | 465 | 578 | 113 | 24.3% |
| 経常利益 | 475 | 589 | 114 | 24.1% |
| 親会社株主に帰属する中間純利益 | 328 | 407 | 79 | 24.3% |

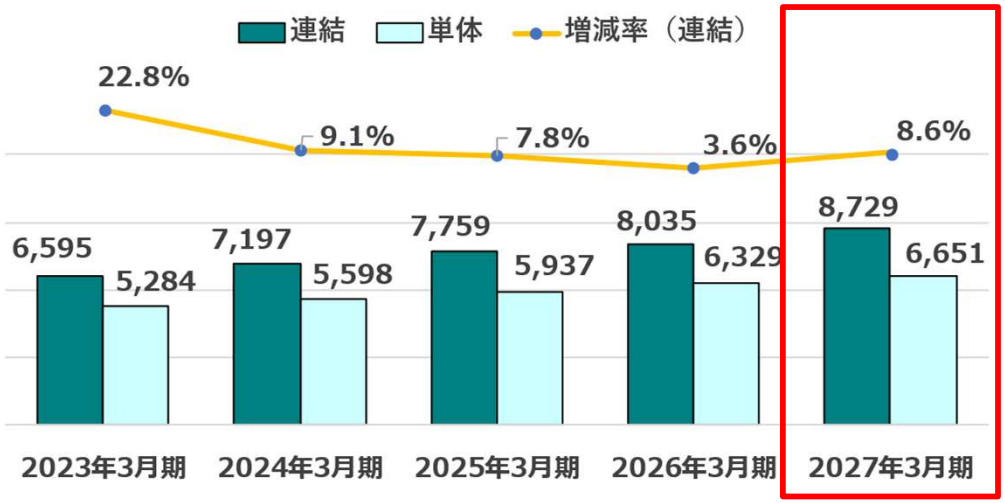

Copyright © 2026 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

# 2027年３月期 第２四半期　決算業績 過去5年推移

和弘食品株式会社

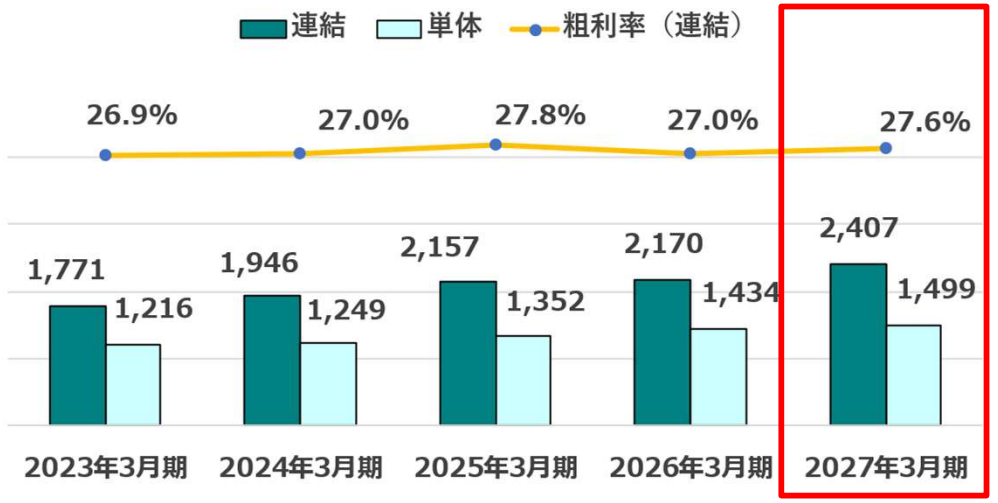
（単位：百万円）

## 売上高推移（連結・単体）



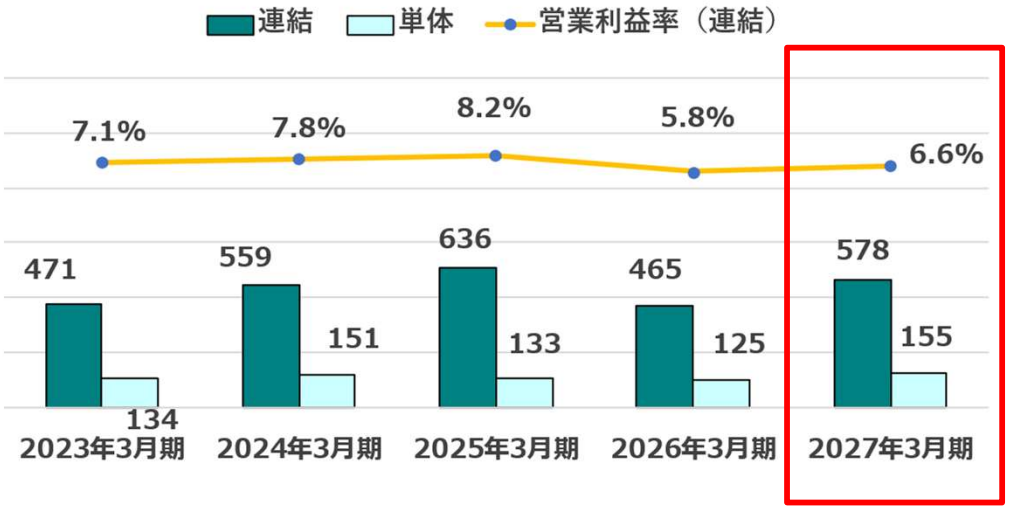

（単位：百万円）

## 売上総利益推移（連結・単体）



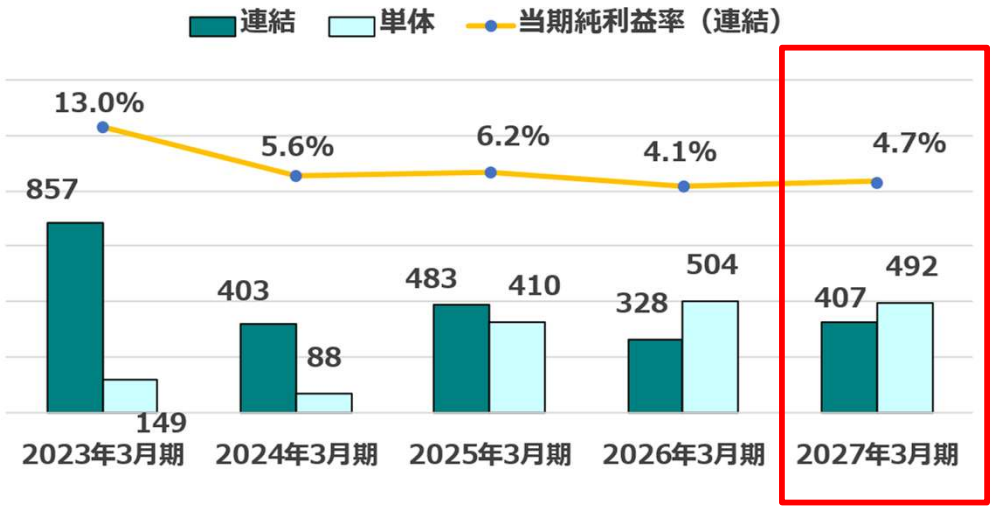

（単位：百万円）

## 営業利益推移（連結・単体）




（単位：百万円）

## 当期純利益推移（連結・単体）





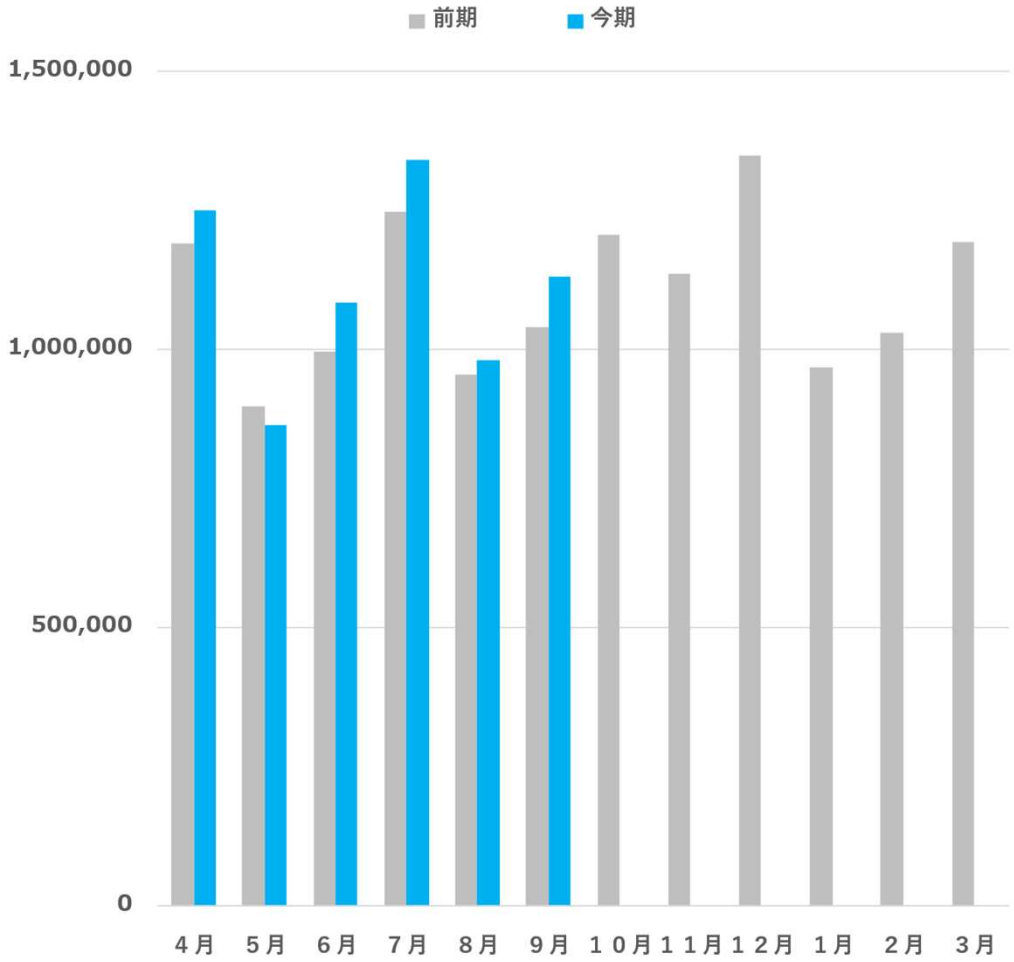
Copyright © 2026 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

# 2027年３月期 第２四半期 日米月別売上推移

和弘食品株式会社

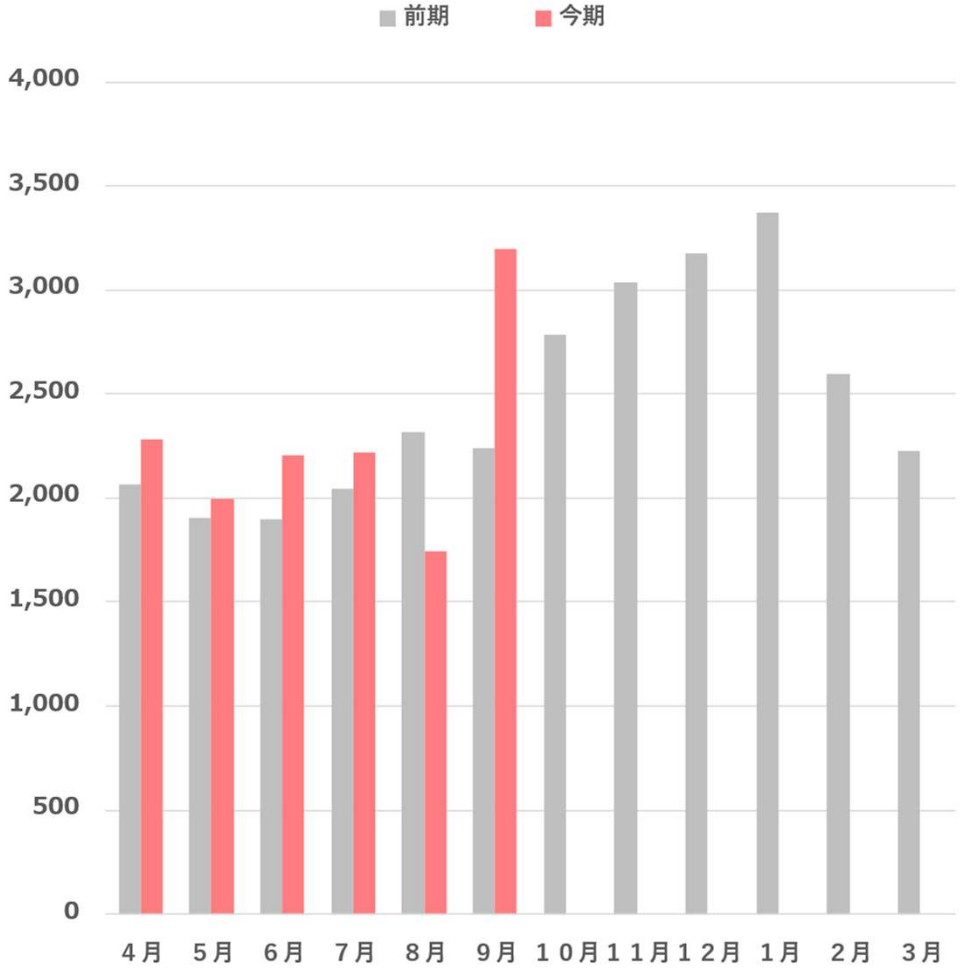
## 日本セグメント売上高

（単位：千円）




## 米国セグメント売上高

（単位：千ドル）





Copyright © 2026 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

## １．外食向け販売が堅調に推移し、増収増益

外食向け販売が好調に推移したことに加え、フェアメニュー等の中食向け販売も寄与し、売上高は6,651百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は155百万円（同24.3%増）と、売上・営業利益ともに前年実績を上回った。増収効果に加え、低採算品の終売・価格改定などの採算改善策により原材料価格や人件費等のコスト上昇を吸収し、営業利益の増加に繋がった。

## ２．各種収益改善策を継続し、利益率の向上を目指す

物価高や世界情勢の不透明感が強まり、今後も原材料価格や人件費・製造経費等の上昇が続くと見込まれ、事業環境の先行きは見通しにくい状況にある。下期以降についても、各種収益改善策を着実に進め、収益基盤の一層の強化を図る。


Copyright © 2026 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

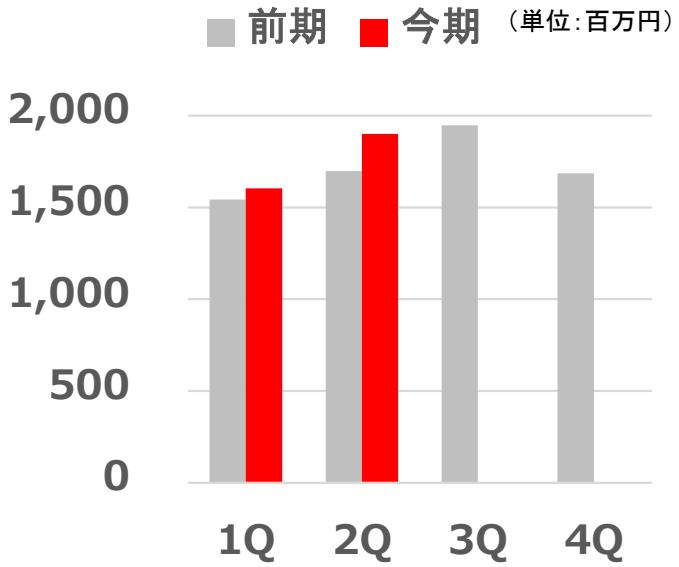
# 日本セグメント（品種区分別実績）

和弘食品株式会社

## 業務用調味料

53.50%
売上構成比

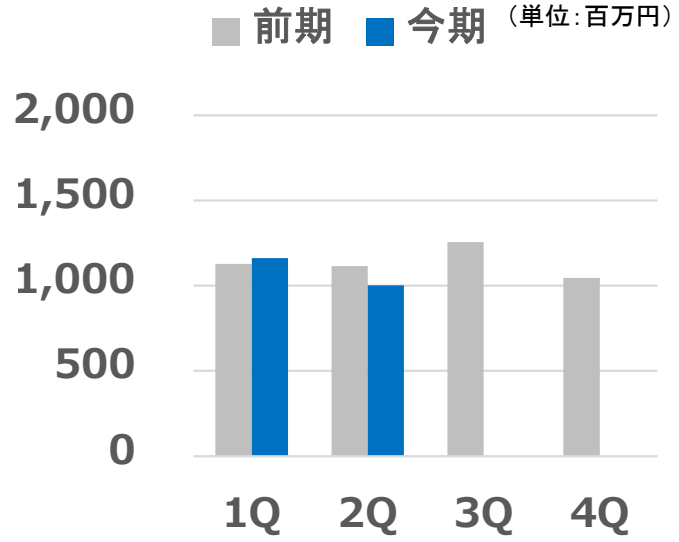





## 別添用調味料

33.01%
売上構成比

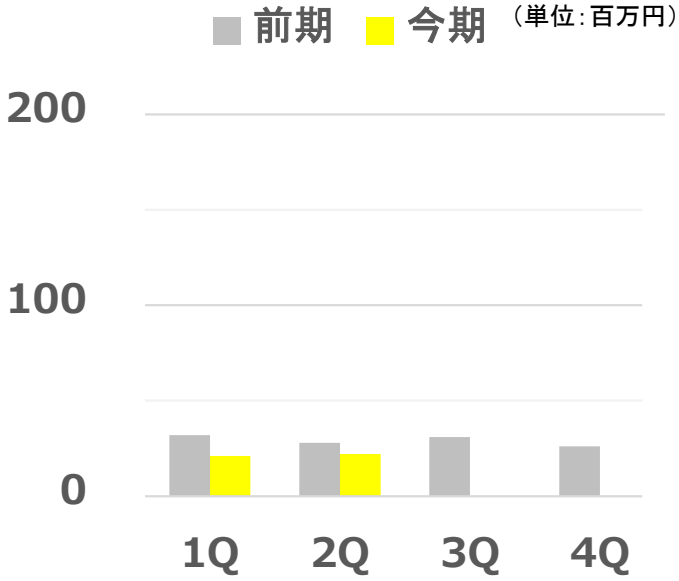





## 天然エキス

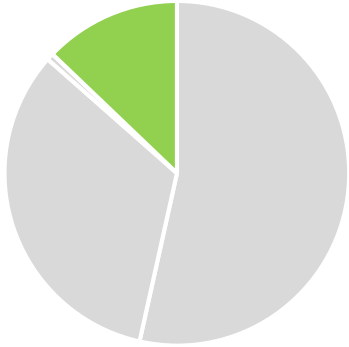
0.66%
売上構成比

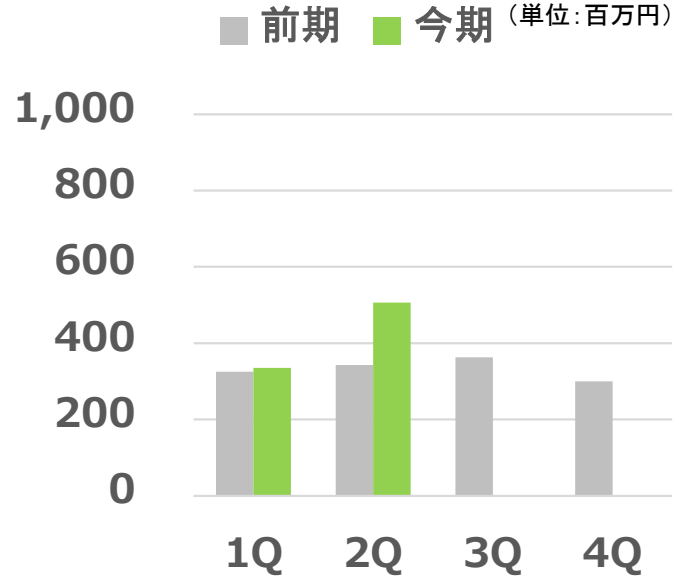





## その他

12.83%
売上構成比







Copyright © 2026 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

## １．新規取引の獲得等により、増収増益

大手チェーンの積極的な店舗展開と新規チェーン店の取引獲得が牽引し、売上高は2,178百万円（前年同期比19.4%増）、営業利益は396百万円（同11.2%増）と、売上・営業利益ともに前年実績を上回った。

生産面では、仕損の大幅削減など品質管理の改善を進め、新規設備の導入により安定供給体制の構築に取り組んだ。

## ２．北米ラーメン市場の状況と下期の取り組み

北米では物価高や先行き不安が続き、外食市場全体は停滞傾向にある。猛暑や観光地の客足減といった逆風も重なったが、寿司店や居酒屋業態等の新たな需要の掘り起こしによる販路拡大が業績に寄与した。

先行き不透明な事業環境が続くが、新規ユーザーの早期獲得や新製品の導入、生産体制の強化を進め、事業領域の拡大を図る。

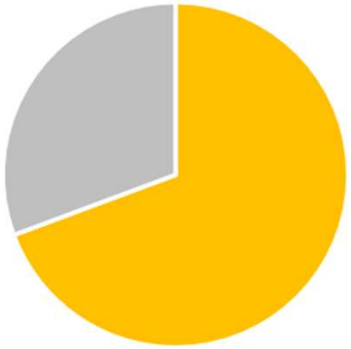

Copyright © 2026 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

# 米国セグメント（品種区分別実績）

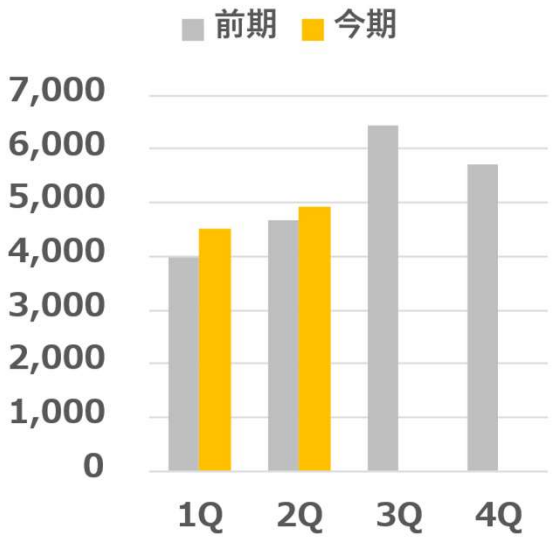
## NB製品

※ NB･･･ナショナルブランドの略。当社が独自に企画した商品を当社のブランド名で製品化し、販売することを指します。

69.33%
売上構成比



（単位：千ドル）



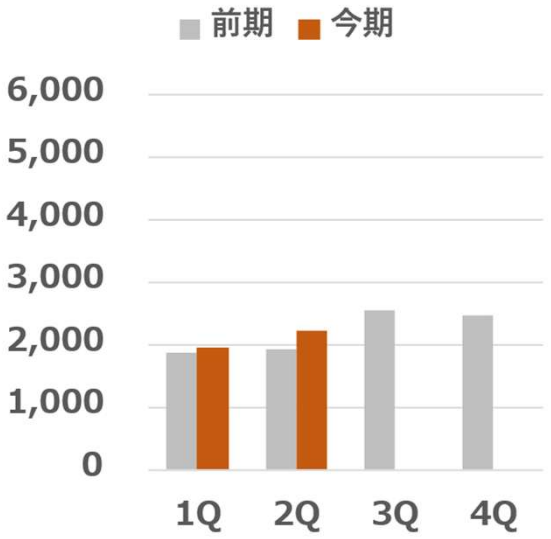

## PB製品

※ PB･･･プライベートブランドの略。商品企画に合わせて当社でレシピ設計をした商品をお客様のブランド名で製品化し、販売することを指します。

30.67%
売上構成比

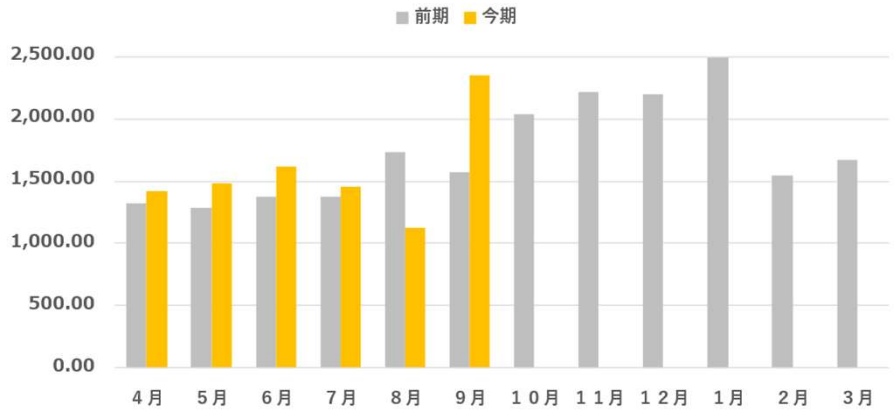


（単位：千ドル）



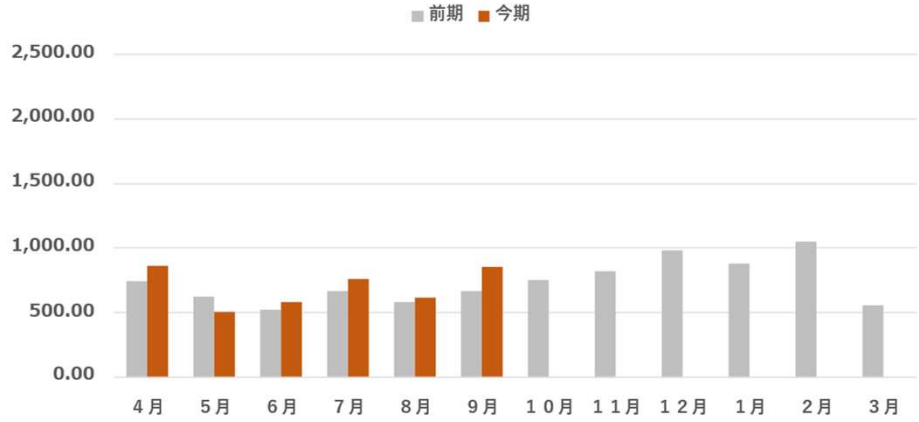

### NB製品月次売上高推移

（単位：千ドル）




### PB製品月次売上高推移

（単位：千ドル）





Copyright © 2026 WAKOU SHOKUHIN CO., LTD All rights Reserved.

◇本資料は情報提供を目的としたものであり、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではございません。投資を行う際は、投資家様ご自身の判断と責任で投資なさるようお願い致します。
当社の株式のご購入にあたっては各証券会社にお問い合わせください。

◇本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではございません。

◇本資料の内容は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的リスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。
また、予告なしに内容が変更または廃止される場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本資料に関するお問合せ

和弘食品株式会社

IR担当：佐藤

TEL：０１３４－６２－０５０５

E-mail：IR@wakoushokuhin.co.jp